様式第２号（第３９条関係）

不動産り災申告書

|  |
| --- |
| 年　　月　　日（宛先）前橋市　　消防署長申告者　住　　所氏　　名職　　業電話番号 |
| １ | り災年月日 | 年　　月　　日 | り災物件と申告者との関係 | 所有者・管理者・ 占有者 |
| り災場所 | 丁目　　　　番　　　　号番地 |
| ２ | 建築・購入年月 | 建築又は購入金額 |
| 推定・記録・記憶 | 推　定・記　録・記　憶・不　明 |
| 年　　　　月 | 3.3㎡（坪）当たりの金額（円） | 総金額（円） |
|  |  |
| ３ | 取　　得　　後　　の　　経　　過 |
| 修繕・改築 | 年　月 | 修繕又は改修した箇所 | 修繕又は改築に 要した金額(円) |
| 年　月 |  |  |
| 増築 | 年　月 | 増　築　の　概　要 | 増築面積(㎡) | 増築に要した金額(円） |
| 年　月 |  |  |  |
| ４ | り　災　前　の　建　物　詳　細 |
| 建物の用途 | 屋　　根 | 外　　壁 | 階　　数 | 延べ面積 |
|  |  |  |  |  |
| 居住世帯数 | 世帯 | 居住人員 | 人 |
| ５ | 建物又は収容物以外のり災状況 |
| り災物件名 | り災別 | 数量又は面積 | 経過年数 |
|  | 焼・消・爆 |  | 年 |
|  | 焼・消・爆 |  | 年 |
|  | 焼・消・爆 |  | 年 |
| ６ | 火災保険の契約 |
| 契約会社名 | 契約年月日 | 保険金額（万円） |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |

（裏）

不動産り災申告書記載要領

（１の項）

り災物件と申告者との関係は、当てはまるものを○で囲んでください。

（２の項）

１　建築・購入年月の欄及び推定・記録・記憶の欄は、記録（帳簿や契約書など）によって明らかなものなのか、推定によるものかなど、当てはまるものを○で囲んでください。

２　金額の欄は、不動産を取得した当時の土地の価格を除いた３．３㎡当たりの金額と、総金額を円単位で記入してください。

（３の項）

１　取得後の経過の欄は、建物を取得してから、規模の大きな建物の修繕・改築又は増築があった場合に記入してください。

２　修繕・改築及び増築の項は、いつ、どこの部分を、どのくらい（㎡）、修繕・改築又は増築し、いくら（金額）かかったかを記入してください。

年　　月　　　　　　修繕した箇所　　　　　金　額

例）改築　　平成２年８月　　　１階事務所部分 30㎡　　3,532,000円

例）増築　　昭和59年４月　　　２階住宅　　　　20㎡　　1,520,000円

（４の項）

１　り災前の建物詳細の欄は、建物の用途、屋根、外壁の構造材、階数及び延べ面積を記入してください。

建物の用途　　　 屋根　　　　　外壁　　　　　　 階数 　　延べ面積

例）住宅　　　　　　日本瓦　　　　モルタル　　　　２階建　　　75㎡

例）店舗・住宅　　　亜鉛鉄板　　　石綿セメント　　３階建　　 135㎡

２　居住世帯数及び居住人員の項は、建物内すべてに居住する世帯と人員を記入してください。

（５の項）

１　建物又は収容物以外のり災状況の欄は、建物・収容物以外の庭木類、塀などがり災した場合に記入してください。

２　り災別の欄は、当てはまるものを○で囲んでください。

(1) 焼：火災の火炎、高熱等によって焼けた、壊れた、すすけた、変質したものなど（「焼き焼損」という。）

(2) 消：消火のために受けた水損、破損、汚損など（「消火損害」という。）

(3) 爆：爆発により、壊れたものなど（焼き損害及び消火損害以外のもの）

（６の項）

１　火災保険の加入が数社ある場合は、すべて記入してください。

２　保険金額は、契約会社別に万単位で記入してください。

備考

１　この申告書は、消防法第３４条に基づいて提出を求めるものです。

２　この申告書は、り災した建物１棟について１枚を使用してください。

３　この申告書は、り災した日から起算して７日以内に提出してください。

４　あなたに連絡する場合の連絡先の電話がありましたら、その電話番号を記入してください。

５　この申告書でわからないことがありましたら、下記消防署までご連絡ください。

前橋市　　消防署

電　話